

知立駅周辺地区エリアプラットフォーム

組織体制検討部会 # 1 議事概要

日時：2026 年 7 月 16 日(水)15:00 から

場所：知立市役所 北東 C 会議室

参加者名簿（順不同、敬称略）

会員	団体名/法人名	出欠席
1	知立まちづくり株式会社	出席
2	町内会（本町）	出席
3	町内会（新地町）	欠席
4	知立市商工会	出席
5	知立市商工会青年部	欠席
6	駅南振興会	出席
7	株式会社藤田屋	出席
8	名古屋鉄道株式会社	欠席
9	知立銀座商店街協同組合	出席
事務局	知立市 まちづくり政策課	出席

※会員 9 名中、3 名欠席、6 名参加であり、定足数（過半数）を満たしているため開催。

議事要旨

1.挨拶(事務局)

- 今年度より知立市機構改革が行われ、担当が経済課からまちづくり政策課へ変更となった旨説明し、自己紹介を実施。

2.部会長の選任

- 知立駅周辺エリアプラットフォーム規約第14条第2項に基づき、部会員の互選により副会長を選出する手続きを実施。
 - ・他薦により知立市観光協会会長 本多氏が推薦され、部会長として承認された

3.昨年度までの活動振り返りと今年度の方針説明（事務局説明）

- 事務局より資料2に基づき、昨年度の成果と今年度の活動方針を説明。

4.意見交換

- まちづくり会社の役割分担と業務体制の素案について、今後の議論により変更の可能性がある
- 都市再生推進法人への指定のメリット・デメリットについて議論が行われた
 - ・デメリットについてはなし
 - ・メリットについては次回開催時に事務局が取りまとめて展開
- 「誰がどんな役割を担うべきか・担いたいのか」「新たな組織をどんな組織にするか」「既存組織に何が足りないか」「検討具体化に必要な取り組み（勉強会・視察・事業計画等）」の4点を議論テーマとして提示
 - ・駅前のまちづくりを主導的に担える組織が必要であり、熱意ある人材の関与が不可欠
 - ・若手・高校生・青年部などを巻き込み、具体的なビジョンを示すことが重要
 - ・自身の子供が生まれてから街づくりへの関心が生まれた経験を共有し、若手の意見を吸い上げる仕組みとしてまちづくり会社が有効
 - ・収益の柱がなければボランティアベースでは継続できない
- まちづくり会社の組織設計・完了条件・実行責任に関する提言
 - ・知立駅周辺の年間利用者（延べ500万人規模）を収益に変換できていないことが課題

であり、テナント編成・公共空間運営・民間投資誘致・収益設計が必要

- ・ 1 年目、3 年目、5 年目の完了条件（テナント数・来訪者数・営業リスト達成率・回収方法等）を設定すべき
- ・ 焦って成果を求めるのではなく、「成果が出そうだ」と思わせる計画を早急に整えることが重要
- ・ 段階的な目標設定と実行責任の明確化が今後の重点課題

以上